

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 三光産業株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山原 剛之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 平井 孝正

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-3403-9216

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,986	△15.6	△113	—	△98	—	△105	—
21年3月期第3四半期	8,278	—	33	—	35	—	△329	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△16.81	—
21年3月期第3四半期	△44.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	12,186	9,398	75.2	1,479.87
21年3月期	11,970	9,586	78.1	1,495.03

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 9,165百万円 21年3月期 9,349百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,120	0.5	44	—	59	—	20	—	3.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 7,378,800株 21年3月期 7,378,800株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,185,604株 21年3月期 1,125,284株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 6,247,356株 21年3月期第3四半期 7,362,889株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成しており、実際の業績は今後起こりうる様々な要因により、異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や中国を中心とするアジア経済の回復に支えられ、景気は一部に持ち直しの兆しが見えるものの、企業収益の低迷、雇用情勢の悪化による個人消費の不振などにより、依然として厳しい状況で推移いたしました。

印刷業界におきましても、印刷需要が低迷しているなか、多品種小ロット化や受注単価の低下等の影響もあり、引き続き厳しい受注環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは新規事業の推進と販路拡大に向け積極的な営業活動を展開すると共に、生産効率の向上、製造原価及び販管費の低減などに力を注ぎ、業績改善に努めて参りました。

当グループの主要な業種別の概況は次のとおりであります。

## (A V機器関連業種)

得意先の海外への生産移管やデジタルカメラ等の関連部品の生産調整による売上減少により、売上高は1,847百万円(前年同期比79.6%)となりました。

## (O A機器関連業種)

生産調整や海外への生産移管により売上の減少があるものの、新規事業であるタッチパネル関連の受注が増加したため、売上高は2,739百万円(前年同期比100.5%)となりました。

## (その他電気機器関連業種)

アクリル材料への印刷、切削加工製品等の受注量は増加しましたが、一般シールラベル等については得意先の生産調整や事業撤退などにより、売上高は1,409百万円(前年同期比78.4%)となりました。

## (輸送用機器関連業種)

自動車メーカーの生産調整による自動車関連部品などの受注量の減少により、売上高は439百万円(前年同期比62.1%)となりました。

## (印刷業界関連業種)

売上高は145百万円(前年同期比99.2%)となり、ほぼ横這いで推移いたしました。

## (その他の業種)

主にアミューズメント関連業種の受注量が減少し、売上高は404百万円(前年同期比70.2%)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,986百万円(前年同期比84.4%)となりました。利益面につきましては、売上高の大幅な減少により、営業損失は113百万円(前年同期は33百万円の営業利益)、経常損失は98百万円(前年同期は35百万円の経常利益)となり、四半期純損失は105百万円(前年同期は329百万円の四半期純損失)となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

## イ. 日本

国内は売上高5,403百万円(前年同期比85.2%)、営業損失は174百万円(前年同期は169百万円の営業損失)となりました。

## ロ. アジア

アジアは売上高1,583百万円(前年同期比81.8%)、営業利益は40百万円(前年同期比22.8%)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1)資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は12,186百万円(前連結会計年度末は11,970百万円)となり、前連結会計年度末に比べ215百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の減少602百万円のほか、長期定期預金の解約等により固定資産が294百万円減少いたしました。売上債権866百万円及びたな卸資産303百万円が増加したこと等によるものであります。

負債総額は2,788百万円(前連結会計年度末は2,384百万円)となり、前連結会計年度末に比べ403百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金が82百万円減少いたしました。支払手形及び買掛金等の仕入債務が531百万円増加したこと等によるものであります。

また、純資産額は四半期純損失の計上及び配当金の支払により利益剰余金が148百万円減少したほか、自己株式の取得32百万円を行ったことにより9,398百万円(前連結会計年度末は9,586百万円)となり、前連結会計年度末に比べ187百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は75.2%(前連結会計年度末は78.1%)となりました。

(2)当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、減価償却費、仕入債務の増加及び定期預金の払戻による収入等の資金の増加がありましたが、売上債権の増加やたな卸資産の増加による資金の減少により前連結会計年度末に比べ470百万円減少し、2,353百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、減価償却費194百万円や仕入債務の増加額535百万円等の資金の増加要因はありましたが、税金等調整前四半期純損失96百万円、売上債権の増加額873百万円及びたな卸資産の増加額306百万円等の資金の減少要因によって626百万円（前年同期比1,020百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は、有形固定資産の取得による支出107百万円等がありましたが、定期預金の払戻による収入431百万円等の増加要因により、230百万円（同413百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、自己株式の取得による支出32百万円、配当金の支払額43百万円等により76百万円（同21百万円減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績につきましては、国内景気は依然として不透明な状況が続いておりますが、中国を中心とするアジア経済の回復がみられることから、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成21年5月26日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、業績予想の修正が必要となった場合は、直ちに別途お知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,384,305	2,986,483
受取手形及び売掛金	3,630,141	2,763,154
有価証券	129,023	128,352
商品及び製品	602,608	369,439
仕掛品	136,131	132,614
原材料及び貯蔵品	315,585	248,990
その他	94,427	152,063
貸倒引当金	△4,780	△3,632
流動資産合計	7,287,444	6,777,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,119,521	1,184,737
土地	1,599,569	1,599,997
その他(純額)	724,938	749,839
有形固定資産合計	3,444,029	3,534,574
無形固定資産		
ソフトウェア	10,359	10,971
無形固定資産合計	10,359	10,971
投資その他の資産		
長期定期預金	900,000	1,100,000
その他	638,368	643,696
貸倒引当金	△93,395	△95,763
投資その他の資産合計	1,444,972	1,647,932
固定資産合計	4,899,361	5,193,478
資産合計	12,186,805	11,970,944
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,112,735	1,581,116
未払法人税等	11,127	19,044
賞与引当金	85,657	168,200
その他	264,631	253,698
流動負債合計	2,474,152	2,022,059
固定負債		
退職給付引当金	183,315	182,652
長期未払金	101,445	143,445
その他	29,738	36,692
固定負債合計	314,499	362,790
負債合計	2,788,651	2,384,849

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,272,820	2,272,820
利益剰余金	6,494,408	6,643,209
自己株式	△1,013,717	△981,641
株主資本合計	9,604,261	9,785,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△49,921	△60,194
為替換算調整勘定	△389,232	△375,715
評価・換算差額等合計	△439,153	△435,909
少数株主持分	233,046	236,867
純資産合計	9,398,154	9,586,095
負債純資産合計	12,186,805	11,970,944

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	8,278,280	6,986,602
売上原価	6,762,439	5,769,809
売上総利益	1,515,841	1,216,793
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	699,142	659,029
賞与引当金繰入額	48,186	28,589
退職給付費用	33,975	33,401
福利厚生費	126,948	116,731
貸倒引当金繰入額	4,133	1,919
その他	569,965	490,958
販売費及び一般管理費合計	1,482,352	1,330,629
営業利益又は営業損失(△)	33,489	△113,836
営業外収益		
受取利息	20,616	10,839
受取配当金	8,263	6,527
受取保険金	—	10,000
その他	22,351	27,967
営業外収益合計	51,231	55,334
営業外費用		
為替差損	35,050	30,651
その他	14,439	9,246
営業外費用合計	49,489	39,897
経常利益又は経常損失(△)	35,230	△98,399
特別利益		
固定資産売却益	858	597
貸倒引当金戻入額	2,053	943
特別利益合計	2,911	1,541
特別損失		
固定資産処分損	383	58
投資有価証券評価損	20,034	—
災害による損失	19,057	—
たな卸資産廃棄損	6,600	—
特別損失合計	46,076	58
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,934	△96,916
法人税、住民税及び事業税	28,487	19,578
法人税等調整額	281,963	△9,678
法人税等合計	310,451	9,900
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10,819	△1,790
四半期純損失(△)	△329,205	△105,026

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,934	△96,916
減価償却費	219,923	194,910
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,621	662
役員退職慰労未払金の減少額	—	△42,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△80,183	△82,542
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,789	△1,219
受取利息及び受取配当金	△28,879	△17,366
受取保険金	—	△10,000
投資有価証券評価損(△は益)	20,034	—
売上債権の増減額(△は増加)	546,560	△873,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	△92,237	△306,233
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△115,428	63,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,617	535,579
その他	105,128	△1,803
小計	392,196	△637,594
利息及び配当金の受取額	28,879	17,366
保険金の受取額	—	10,000
法人税等の支払額	△26,795	△15,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	394,280	△626,038
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,469	△101,443
定期預金の払戻による収入	84,991	431,112
有形固定資産の取得による支出	△127,988	△107,683
その他	△40,385	8,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,852	230,044
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2,893	△32,075
配当金の支払額	△95,727	△43,774
その他	—	△874
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,621	△76,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,467	2,558
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,339	△470,159
現金及び現金同等物の期首残高	3,165,427	2,823,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,239,766	2,353,508



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社グループは、接着剤付きラベル、ステッカー、パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造販売という単一産業区分に属する事業を行っている専門メーカーですので、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。このため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

## [所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,342,828	1,935,452	8,278,280	—	8,278,280
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	496,722	41,338	538,061	(538,061)	—
計	6,839,551	1,976,790	8,816,341	(538,061)	8,278,280
営業利益又は営業損失(△)	△169,564	179,027	9,462	24,027	33,489

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,403,139	1,583,463	6,986,602	—	6,986,602
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	956,212	44,117	1,000,329	(1,000,329)	—
計	6,359,351	1,627,580	7,986,932	(1,000,329)	6,986,602
営業利益又は営業損失(△)	△174,708	40,766	△133,942	20,105	△113,836

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……………マレーシア、香港、中国

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	計
I. 海外売上高（千円）	1,965,851	1,965,851
II. 連結売上高（千円）	—	8,278,280
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	23.7	23.7

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	計
I. 海外売上高（千円）	1,615,909	1,615,909
II. 連結売上高（千円）	—	6,986,602
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	23.1	23.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……マレーシア、シンガポール、タイ国、インドネシア、フィリピン、香港、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

該当事項はありません。